

平成29年 2 月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成29年 2 月13日 (月) 午後 4 時15分～午後 5 時15分
場 所	青葉区役所402～403会議室
出席者	<p>【議長】 菅野義矩議員</p> <p>【議員：5名】 青木マキ議員、行田朝仁議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：36名】 小池恭一区長、大野敏美副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、小嶋哲夫福祉保健センター担当部長、榎重善青葉土木事務所長、こども青少年局岩田こども家庭課担当課長、都市整備局佐藤都市交通部長、松井都市交通課長、交通局松田工務部長、橋本建設改良課長 ほか関係職員</p>
次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 平成29年度 青葉区内における主な局予算事業について (資料1・区政推進課)</p> <p>(2) 高速鉄道3号線延伸(あざみ野～新百合ヶ丘)の今後の進め方について (資料2・都市整備局都市交通課、交通局建設改良課)</p> <p>(3) 「青葉区まちづくり指針(都市計画マスタープラン青葉区プラン)」改定の原案に関する意見募集の結果について (資料3・区政推進課)</p> <p>(4) 児童養護施設横浜中里学園の開所について (資料4・こども青少年局こども家庭課)</p>
報告事項	(1) 平成29年度 青葉区内における主な局予算事業について
発言の要旨	<p>山下議員 いわゆるごみ屋敷問題について、青葉区の状況は実際にはどうなっているか。</p> <p>藤塚福祉保健課長 1月に条例施行後の判断基準に基づき対策連絡会議で判定したところ、いわゆるごみ屋敷と判定されたものが2軒あった。そのうち1軒は、大量の堆積物がある中で電気ポットを使用するなど火災のリスクもあると判断し、今月中に排出支援を行う予定である。</p> <p>横山議員 その2軒というのは、どの地区にあるのか。</p> <p>藤塚福祉保健課長 すみよし台と大場町にある。すみよし台の案件については排出支援を行う予定だが、大場町の案件については住民の方が入院中のため、退院されたところを見計らって片づけをしていただくようアプローチしていく予定である。</p> <p>また、いわゆるごみ屋敷と判定されたのはその2軒だけだが、これか</p>

<p>発言の 要旨</p>	<p>らそうになってしまうかもしれないところが他にもあり、これについては経過を見ながら対応していきたい。</p>
<p>横山議員</p>	<p>資料の作り込みについて、例えば15ページの「無電柱化推進事業」の内容について、「山下本牧磯子線の原町地区など9地区」と書いてあるが、青葉区は「など9地区」の中に入っているのだろう。</p> <p>同じページの「歩道橋の老朽化対策」の内容についても、「浅間歩道橋等19橋」とあるが、これも青葉区の歩道橋は「19橋」の中に入っているのだろう。</p> <p>予算発表後、この会議に間に合わせるために急いで資料を作っていたのだと思うが、これは青葉区の資料なので、青葉区のどこで事業が行われるのか分かるような資料に、今後はしていただきたい。</p>
<p>山下議員</p>	<p>生活保護の関係で、青葉区に何か所か無料低額宿泊施設があったと思うが、現在の状況はどうなっているか。</p>
<p>富田生活支援 課長</p>	<p>青葉区内に昨年まで5か所あったが、1か所が閉鎖され、現在4か所となっている。</p> <p>先週、健康福祉局生活支援課援護対策担当と青葉区生活支援課でそのうちの2か所に監査に入り、施設の運営状況等について確認している。</p>
<p>山下議員</p>	<p>その4か所というのは、当時、独身寮の跡地を使ったり、一部屋をふたつに分けたりと非常に劣悪な環境だったようだが、今の状況はどうなっているか。</p>
<p>富田生活支援 課長</p>	<p>健康福祉局でガイドラインを作り、そのガイドラインに基づいて各施設の状況を確認している。</p> <p>これらの施設は、社会福祉法第2条第3号に定める宿泊施設で、開設は届出制となっている。</p> <p>開設後1か月以内に届け出をするときに必ず施設の状況がわかるものを所管課に提出していただき、所管課が確認することになっており、現在はガイドラインに沿った形で運営がなされていると考えている。</p>
<p>行田議員</p>	<p>産前産後のヘルパー派遣事業について、青葉区における昨年度と今年度の実績はどうなっているか。またどのような人にどのようなタイミングで紹介をしているのか。</p>

<p>発言の 要旨</p>	<p>樋田こども家庭支援課長</p>	<p>派遣実績については、昨年度は世帯実数で67件、延べ回数で647回、今年度は1月末時点で登録世帯数が105件、実際に利用する方は登録数より若干少ない数になると考えている。</p> <p>紹介のタイミングについては、母子健康手帳交付時にサービスのご説明をしている。また、保健師・助産師等が訪問した際に、必要な方には個別に重ねてお知らせをしている。</p>
<p>行田議員</p>	<p>虐待対策については、先週、県警と保育園が協定を結んだと記者発表されていたが、あらゆる手を使って発生させないということが大事であり、この事業もとても大事なものだと思っている。</p> <p>たしかに、手帳の交付時の説明というのもひとつの方法ではあるが、もっとハードルを下げてもっと必要となる所にサポートが届くように、対策を工夫していただきたいと考えるが、どうか。</p>	
<p>樋田こども家庭支援課長</p>	<p>派遣をお断りになる理由として、もちろん費用の面もあるが、一方で、他人に家の中に入られたくない、あるいは家族の協力で何とかする、という理由で断られる場合もある。</p> <p>そういった場合でも、虐待予防として大変有効な事業なので、訪問等の機会を捉えて産前産後ヘルパーの意義を丁寧にご説明し、ご理解を得ていきたいと考えている。</p>	
<p>小池区長</p>	<p>虐待予防については、いろいろな機会を捉えて対策を行っているが、産前産後ヘルパーの派遣は非常に有効な事業であると考えており、虐待予防の重要性をあらためて心に銘記して取り組んでいきたい。</p>	
<p>横山議員</p>	<p>区庁舎について、竣工から22年経ち、今のうちから長寿命化を図っていかなければならないと思うが、これまでのメンテナンスの状況と今後の長寿命化に向けた取組について現時点で考えていることがあれば教えてほしい。</p>	
<p>川合総務課長</p>	<p>毎年、法定年限を迎える箇所について順に対応している状況だが、今後、長寿命化の視点も入れながら修繕計画を立てていかなければならないと考えている。</p> <p>また、照明器具の設備が傷んでいるところもあり、その補修に合わせてLED化も進めている。</p>	
<p>横山議員</p>	<p>これまでの実績や今後の計画について、資料をいただきたい。</p> <p>他の区役所では、南区役所や金沢区役所が新しくなり、今度、港南区</p>	



<p>発言の 要旨</p>	<p>都市整備局佐藤都市交通部長 あざみ野～新百合ヶ丘間は、直線距離では6 kmくらいある。あくまで今後の検討次第だが、仮に1～1.5 km間隔で駅を設置するとなると、川崎市の中のすすき野付近以外にも駅が出来ることになる。</p> <p>横山議員 では、少なくとも横浜市側ではすすき野付近に1か所駅を作るということか。期待してしまうから、ここは毅然たる態度ではっきりしておいたほうがいい。</p> <p>都市整備局佐藤都市交通部長 あざみ野～すすき野間で3 kmくらいあるので、中間駅についても検討していくことになるかと思う。</p> <p>横山議員 では、参考資料の地図でなぜすすき野付近だけ黄色い円が示されているのか。中間駅を検討するならあざみ野との間にもう一つ円があってもいいのではないか。</p> <p>都市整備局佐藤都市交通部長 平成12年に国の運輸政策審議会から出された答申の中では、あざみ野と新百合ヶ丘の間に「すすき野付近」という経由地が示されていた経緯がある。 経由地であり、必ずしも駅が出来るという指定の仕方ではないが、15年前にはそういう地名が経由地として表示されているということも十分考慮しながら、検討を進めてまいりたい。</p> <p>山下議員 今の話だと、横浜市はこの辺に駅を作って、このルートでやりますというのは規定路線のように書かれているが、川崎市は川崎市で、この延伸によって新百合ヶ丘を開発していこうという考えを持っている。 横浜市はこういう計画が前提です、という話では川崎市と調整にならないと思うが、その辺はどう考えているのか。</p> <p>都市整備局佐藤都市交通部長 ご指摘の点も含めて川崎市とは調整してまいりたい。また、やはり一度すすき野付近という経由地が表示され、地元の方の期待も高いと考えられるので、その点も十分考慮しつつ検討を進めていきたい。</p> <p>山下議員 交通局は事業候補者であって、事業者に決定したわけではない。経営形態が上下分離になるのか、どういう形になるのか現時点では決まっていないということになる。 今回、交通局が1億円の予算をかけていろいろ検討するわけだが、例</p>
-------------------	--

<p>発言の 要旨</p>	<p>えば事業者が交通局ではなくなった場合、交通局が検討した資料というのはオープンになるのか。それとも、それは交通局がやったものだから、公開しないということになるのか。</p> <p>交通局松田工務部長 積極的に公開していくのか、それとも求めに応じて公開するのか、公開方法は検討が必要だが、検討した資料は公文書になるため、原則公開になるものと考えている。</p> <p>藤崎議員 需要の見通しや事業採算性に関して、新百合ヶ丘まで延伸すれば利便性はもちろん向上するが、一方では人口の流出という問題も起こり得るのではないか。</p> <p>たとえば田園都市線でいえば、長津田や中央林間という急行始発駅を選んでそこに家を買おうという考え方もあると思う。</p> <p>市営地下鉄についていえば、新百合ヶ丘駅もしくはもう1か所、駅が川崎市側に出来る。そしてすすき野・あざみ野間にも1か所か2か所くらい駅ができるかもしれない。そうすると、横浜方面に向かうことを考えたときに、始発駅の新百合ヶ丘に住んだほうがいいと思う人が出て来るかもしれない。結果的に横浜市ではなく川崎市に住むことを選択されるということも起こり得る。</p> <p>横浜市営地下鉄が延伸したら川崎市に人口が流出しました、では横浜市としては本意ではない。そういう意味で、新百合ヶ丘始発だけでなく、横浜市内の駅を始発とする便もあったらいいのではないかと考えるが、どうか。</p> <p>交通局松田工務部長 検討の中身に運行計画も盛り込んでいるが、快速運転と各駅停車のバリエーションの検討が基本になる。今日いただいたご意見やご指摘等も参考していきたい。</p>
<p>報告事項（3）「青葉区まちづくり指針（都市計画マスタープラン青葉区プラン）」改定の原案に関する意見募集の結果について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>（特になし）</p>
<p>報告事項（4）児童養護施設横浜中里学園の開所について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>山下議員 当初、神奈川県とさまざまなことをやりながらやっとここまで来て、運営法人も決まった。</p> <p>児童養護施設は、障害のあるお子さんやいろいろな背景のあるお子さんを24時間態勢で預かるということで、運営法人を見つけるのが難しく、また今ある保育所の中で設置出来るところもないので、横浜でこう</p>

<p>要 旨</p>	<p>いう施設が整備出来るのはおそらく今回が最後ではないかと思っている。</p> <p>そういう意味では、この施設を地域としてしっかり支えていただきたいし、こども青少年局でもしっかりとフォローをしていただきたい。</p> <p>ここからは青葉区へのお願いになるが、ここはみたけ台小学校とみたけ台中学校が学区になる。中里学園だったころから、みたけ台小学校、みたけ台中学校の歴代の校長先生はその辺を配慮した方が多かった。</p> <p>地域の理解はもちろんだが、学校関係者の理解が非常に重要になるので、こども青少年局や教育委員会等と連携して、また運営法人とも協力し合いながら、子供達のためにしっかり運営していただきたい。</p> <p>こども青少年局岩田こども家庭課担当課長  学校も含めた地域と一緒に歩んでいける施設を作っていくために、こども青少年局としても区役所や学校とも連携し、力を入れていきたいと考えている。</p> <p>青木議員  横浜型児童家庭支援センターを併設予定となっているが、これは開所と同時に開設するのか。また、場所はどこになるのか。</p> <p>こども青少年局岩田こども家庭課担当課長  いきなり両方というのはなかなか難しいので、本体の養護施設の安定稼働を見ながら、センターの開設方式を決めていきたいと考えている。  場所としては、管理棟・居住棟1の3階建ての1階部分を使っていく予定である。</p> <p>菅野議長  私の子どもがみたけ台中学校で、野球もしていたので、中里学園のお子さん達と仲良くやっている。自分もPTA等で関わってきたが、今回の開所を契機に、隣り合う学校と連携を取り、いい意味で地域も巻き込んで、理解と連携の輪を広げていっていただきたい。</p>
------------	--